

# 2014年度 事業報告書

事務局長  
高頭 明紀夫

## 1. 事業内容

- (1) LOM 運営全般の管理補佐。
- (2) 事務局の統括管理
- (3) スタッフ会議の運営

## 2. 所感

佐田直人理事長の掲げる「温故知新」の旗の下にスタートした 2014 年度の私たちの活動。LOM スタッフを構成する一人として、事務局長という大役を仰せつかったものの、これまでの活動で培った知識と経験だけでは、とても佐田理事長と大石専務理事を補佐することもままならず、次年度段階から右往左往を繰り返していたことをよく憶えています。スタッフ会議の場から、各委員会をはじめ LOM の活動全般に目を配るだけでなく、佐田理事長、大石専務理事と共に対外的な活動の場に赴くことも多く、自身の責任の重さと、市民の皆様からの長岡 JC の活動に寄せる期待の大きさや、県内外の LOM からも注目されている LOM であることを直接的に感じる事が出来た一年でもありました。文字通り「LOM のど真ん中に立って」活動しなければならない立場の中で、自身の意識と行動がしっかりと伴っていたのか、役職を終えた今となって、自分の姿を客観的に思い返しております。加えて、経験不足の私を何から何までご指導していただいた大石専務理事には、言葉では尽くせない恩義と感謝の念を感じております。補佐しなければならない立場の私を補佐いただいたことも数多く、今も反省を尽くす次第です。その中でも、何か自分に出来ることを考え行動することが、私たちの日頃の活動の精神的な根幹であると、改めて認識することが出来たようにも思います。私たちが長岡のまちのために活動するには、一人ひとりの「誰かのために」という気持ちと、コミュニケーションの構築が不可欠です。効率だけを追い求めるのではなく、非効率でも、もっと同じ時間を過ごして、仲間との信頼関係を強くしていくことが重要ではないでしょうか。口幅ったいようですが、昨年一年間を LOM 全般そしてそれぞれの委員会運営を見させていただく中で感じたことを、自戒も込めてここに残したいと存じます。

結びに、ご指名をいただきました佐田直人理事長はじめ、全てのメンバーの皆様にご心より厚く御礼を申し上げ、2014 年度事務局長の所感に代えさせていただきます。一年間、本当に有り難うございました。